



玉名市立玉水小学校

学級数
7学級
児童数
129名

玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています！

天水中学校区教育目標

ふるさと天水町に誇りをもち、たくましく生き抜く児童・生徒の育成
天水中学校区でめざす子ども像

- ・自分の思いや考えを伝え合い学び合い、未来を切り拓くことができる児童・生徒
- ・自他を大切にし、感謝と思いやりの心を持った児童・生徒
- ・生涯を通して健康・体力づくりに積極的に取り組む児童・生徒

1 玉水小プライド

本校は明治26年10月、玉水・尾田・立花・部田見の四校が合併して、玉水尋常小学校として開校しました。玉名市南部海拔26メートルの小高い部田見台地に位置し、玉名平野を眺望できます。木々が多く校舎は緑に囲まれています

北門、南門ともにさくらの木が生い茂り4月には、写真のような素晴らしい景色が広がります。



朝のボランティア掃除

4、5、6年生が決まった曜日の朝、校舎まわりをボランティア活動として掃除をしています。活動内容は、ゴミ拾いや落ち葉集め、花壇の草とりや水やりなどを行っています。児童の思いやりの心、愛校心は、学校の宝です。

玉水小学校の宝は、「人」です。

保護者の皆さんに学校の美化作業や運動場側溝掃除をしていただいています。広い学校周辺の斜面や側溝は、子どもたちの力ではとてもきれいにすることはできません。作業は大変でしたが、おかげでとてもきれいになりました。本当にありがとうございました。保護者の皆様は、学校の宝です。



PTA 奉仕美化作業

毎週、木曜日の朝、保護者や地域の方々に来ていただき、教室で本の読み聞かせをしていただいています。子どもたちはとても楽しみにしており、ボランティアの方のお話に熱心に聞き入って有意義な時間となっています。本が大好きで、心豊かな子どもになって欲しいと願っています。地域の方々は、学校の宝です。



読み聞かせボランティア

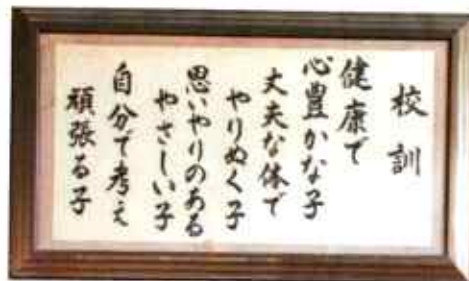
2 学校教育目標

ふるさと天水町に誇りを持ち、未来社会をたくましく生き抜く児童の育成

3 めざす児童像

【校訓】健康で心豊かな子ども

- 思いやりのあるやさしい子 **【共感力】**
- 自分で考え頑張る子 **【考動力】**
- 丈夫な体でやり抜く子 **【やり抜く力】**



4 教育活動の実践

【研究主題】『主体的に学習に取り組み、共感的に学び合う児童の育成』
～「課題設定→課題解決（自力解決・協働解決）→振り返り」の指導の工夫～

目指す児童の姿

- 探究心を持ち、課題に対して主体的に取り組む子ども
- 自分と違う考えに対しても共感的に受け入れ、自分の考えと比較しながらよりよい考えを形成しようとする子ども
- 学びを振り返り、次の学習に繋げていこうとする子ども

【共感力】の育成

児童集会での学習発表



対話のある授業

5年生は、水俣で学習したことをまとめ、自分たちの思いを全校児童に発信しました。

対話のある授業や共感的に学び合う授業の中で、お互いの考えのよさを認め合い、よりよい考えを形成しながら深い学びへとつないでいます。

【考動力】の育成

地震津波避難訓練



交通安全教室

避難訓練を行いました。津波が来ることを想定し、二次避難まで行いました。自分で考え率先避難する態度を育てます。

安全協会や駐在所の方に来ていただき、交通教室を行いました。安全な登下校を心がけ、交通事故「0」を目指します。

【やり抜く力】の育成

学校美化愛校作業



全力でやり抜く！運動会

運動会に向けて、全校で学校の美化作業に行いました。「心を合わせ、全力でやり抜く運動会！」の大会スローガンのもと、赤団・白団ともに心をつなぐ一致団結し、最後まであきらめず、一生懸命に取り組む素晴らしい運動会になりました。